常陸太田市社協と2福祉事業所

寄付付き商品事業締結

売り上げ一部、募金に

常陸太田市社会福祉協議会と市内の二つの福祉関係事業所が、「赤い羽根共同募金寄付付き商品」について締結した。寄付付き商品は、企業や商店、団体などが商品やサービスの売り上げの一部を寄付する社会貢献活動。覚え書きを交わした福祉事業所では「利用者が働いた収益が赤い羽根を通して、いろんな人たちの力になれることは働くモチベーションにつながるのでは」と話している。

社会経済情勢の変化や人口減少、新型コロナウイルス感染症の影響などで一般募金が減少傾向にあり、多様な募金活動で地域福祉の維持、向上を図る工夫がされている。寄付付き商品事業もその一つ。

社会福祉法人朋友会（同市松平町、平根朋幸理事長）は15日、市内で初めて市社協と締結した。朋友会が運営する同市金井町のパン店「ひまわりぱん」の12月分の売り上げの一部を赤い羽根共同募金に寄付する。牛乳や生クリームをたっぷり使ったプレミアム食パンなど約50種類の本格的なパンを提供している。

平根理事長は「障害のある方が働いて得られた収益から募金に協力させていただくことが、働く利用者にも励みになる。パンを笑顔で買ってもらえることが、自分たちの笑顔にもつながる」と説明する。

16日には、同市を中心に各種福祉事業を展開する「いばらきのケア」（同市木崎二町、石川剛社長）と締結した。

発芽ニンニクの入ったレトルトカレー「にんにくスプラウドカレー」の12月分の売り上げの一部を寄付。発芽ニンニクは、障害者の就労などを支援する同社の多機能型生活支援センター利用者が水耕栽培したもの。

石川社長は「障害者福祉施設で作っている商品なので、社協の事業に賛同した。福祉事業への一助になれば」と期待する。

市社協では各事業所に、のぼり旗やポスター、商品に貼るシールなどを提供する。市社協の西野千里事務局長は「福祉関係の事業所に賛同してもらえたことは社会の心の循環につながるのでは」と話し、福祉法人の共同募金への理解が他の企業に広がることに期待を寄せる。

（飯田勉）

市社協と覚え書きを交わした平根朋幸理事長（左）と市社協の西野千里事務局長＝常陸太田市松平町

市社協と覚え書きを交わした石川剛社長（左）＝常陸太田市木崎二町

記憶、考え、共感コロナノート

ムなどの製品のプレゼンテーションを行った。村商工島碧唯（あおい）「社長」（12）は「質問が怖かったけど、審査にてほしい」という村商工会員と木原小の教員の思いで

てた「くじら焼き」

陸太田 名物販売店再オープン

再オ
屋」

家庭題材標語と絵画 優秀児童ら19人表彰

鹿嶋市青少年育成会議

鹿嶋市青少年育成市民会議（長岡正学会長）が「家庭の日」にちなんだ作品を募集した「ふれあい標語・絵画」の表彰式が17日、同市平井の市役所で開かれた。長岡会長が、最優秀賞と優秀賞に輝いた児童生徒19人に表状を贈った。

標語と絵画は、市内の児童生徒を対象に7月上旬から8月末まで募集。標語2754作品、絵画467作品の応募があった。最優秀